



古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校

〒894-1508

鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋399番地1

[TEL] 0997-72-0034

[FAX] 0997-72-0057

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/

創立90周年記念事業 空調設備設置！

本校はこれまで、教室にクーラーが設置されていなかったため、快適な学習環境とは言い難い状況にありましたが、今年度創立90周年を迎えるにあたり、その記念事業として同窓会とPTAの方々を中心となり募金活動を行い、教室棟6室にクーラーを設置していただきました。



夏の到来を迎え、生徒達に快適な学習環境が整備されましたことに厚く感謝申し上げます。

なお、今年度予定していた創立90周年記念式典は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年11月27日(土)に延期することとなりました。

生徒会役員選挙



7月9日(木)に、生徒会役員立候補者演説会及び役員改選選挙を行いました。緊張感の漂うなか立候補者11名は、これからの古高をより良くしたいという熱い思いを語りました。演説を聞いた生徒は「みんな堂々と話していてすごいと思った」「古高のことを真剣に考えているのが伝わった」と話しました。



交通安全教室



6月18日(木)7限目、交通安全教室として、瀬戸内警察署交通課の方に、自転車運転に関する講話と交通ルールの実技講習をしていただきました。講習では、車体点検の方法や走行時の注意点等を学習し、交通安全に対する意識が高まりました。



創立90周年記念「郷土の高校！古仁屋高校のあゆみ」第2号

鹿児島県古仁屋実科高等女学校の時代(昭和14(1939)年~昭和18(1943)年)

昭和5(1930)年に大島郡東方村立古仁屋家政学校として誕生した本校は、昭和14(1939)年4月10日に鹿児島県古仁屋実科高等女学校として再スタートしました。修業年限を1年から2年へ変更し、教育の充実を目指しました。また、校名は高等女学校令の規定に基づき、実科(家政に関する学科目)だけを置く高等女学校として『実科』の文字を入れたものでした。

第1回卒業記念写真には48名の卒業生が写っており、定員は古仁屋家政女学校時代と同じ50名の、狭き門であったことがわかります。

昭和14(1939)年という年は、日中戦争が泥沼化した上に、5月にはノモンハン事件、9月にヨーロッパで第2次世界大戦が勃発するなど、当時の古仁屋実科高等女学校の生徒にとっても、軍事色に生活が染まりつつある中で新たな船出となりました。

(教頭 吉井秀一郎)

<参考・引用文献> 創立50周年記念誌(1981年 鹿児島県立古仁屋高等学校創立五十周年記念事業実行委員会)
瀬戸内町誌 歴史編(2007年 瀬戸内町誌歴史編編集委員会)

古仁屋町立
です！



古仁屋実科高等女学校 第1回卒業記念(昭和15年3月)

中学生体験入学

お知らせ

日時 令和2年7月31日(金)

13:00~16:15

場所 古仁屋高等学校

在校生挨拶や授業体験(国,社,数,音,商業),部活動体験を企画しています!

